

目覚めよ、才能

半導体技術者検定

次世代を、見つめる・支える・創りだす

Watching, Supporting, and Creating the Future.

半導体技術者検定 2023年

第16回

申込期間 4月13日 木 ~ 6月22日 木

受験日 6月2日 金 ~ 6月25日 日

第17回

申込期間 9月14日 木 ~ 11月23日 木

受験日 11月3日 金 ~ 11月26日 日

※毎年、6月・11月頃開催しています。

- 主 催 ● 一般社団法人 パワーデバイス・イネーブリング協会
- 協 賛 ● 株式会社アドバンテスト、東京大学大学院工学系研究科附属システムデザイン研究センター (d.lab)、
一般社団法人応用科学学会、一般社団法人日本電子デバイス産業協会 (NEDIA)、
一般社団法人日本半導体製造装置協会 (SEAJ)、SEMIジャパン、ナノテスト学会 (INANOT)
- 後 援 ● 日経BP社、日経xTECH、九州半導体・エレクトロニクスイノベーション協議会 (SIIQ)、
公益財団法人北九州産業学術推進機構 (FAIS)

一般社団法人 パワーデバイス・イネーブリング協会

<https://www.pdea.jp> 詳しくはHPにてご確認ください。 問い合わせ先: info@pdea.jp

半導体技術者検定とは

半導体チップの品質と信頼性を保証する際のテストに必要な知識を持つ人材を半導体業界で育成することを狙ったものです。

品質を知るためには、テスト対象である半導体についての基礎的知識を網羅的に持っている必要があります。こうした点に着目した先駆的半導体チップの使い手たちが、半導体業界以外からも受験するようになりました。半導体技術者検定では、合格者に、3級、2級、1級と3段階の資格を認定。「半導体技術者 エレクトロニクス〇級」という呼称の資格を付与いたします。

半導体に関する知識を持つ人材の価値は、これからますます高まっていくことでしょう。半導体技術者検定は、半導体の作り手と使い手の知識を客観的かつ公正に認定する唯一の資格です。

より多くの業界・業種の方々の受験をお勧めいたします。

検定のメリット

企業・団体	● 現在の従業員の技術力の可視化ができます。 ● 新人研修等、社内研修の効果の評価ができます。
個人	● 半導体に関わる分野での知識の習得と、目標とする分野の深い知識の習得、学習の評価ができます。 ● 実務的な知識を習得する事で、すぐに実践で応用できます。 ● 専門分野における知識を習得することにより、専門性の高い業務に従事することができます。 ● エンジニアとしての能力を社会にアピールすることができます。

各級の説明

	エレクトロニクス3級 Electronics Basic	エレクトロニクス2級 Electronics Professional			エレクトロニクス1級 Electronics Expert
		設計と製造 Design & Fabrication	応用と品質 Application & Quality	パワーエレクトロニクス Power Electronics	
対象者	半導体設計・製造・品質管理に従事している方や半導体デバイスに関する基礎的な知識を身につけた方	半導体の設計、製造に従事されている方	半導体を使用した機器の設計、アプリ開発、半導体の販売、品質保証業務等に従事されている方	パワー系半導体の設計、製造、パワー系半導体を利用した機器設計、アプリ開発、販売、品質保証業務等に従事されている方	半導体チップの開発やそれを応用した機器・システム・サービスの開発に、指導的立場で携わる方
出題レベル	半導体の基礎、品質保証、半導体製品の分類、半導体の試験工程についての基礎的な問題	それぞれの業務分野における、より専門的な知識、経験を問う問題			半導体技術者検定エレクトロニクス2級の「設計と製造」「応用と品質」「パワーエレクトロニクス」の3科目の検定すべてに合格された方を半導体技術者検定エレクトロニクス1級として認定します。
問題型式	問題数 45問 (4者択一形式)	問題数 45問 (4者択一形式) 科目個別問題から30問(専門性の高い問題) 科目共通問題から15問(2級3科目の共通問題)			
試験時間	90分	90分			



公式テキストのご紹介

はかる×わかる半導体

「入門編」、「パワーエレクトロニクス編」、「応用編」

監修：東京大学 名誉教授 浅田邦博
一般社団法人パワーデバイス・イネーブリング協会
発行：日経BPコンサルティング
発売：日経BPマーケティング

詳細はWEBをご覧ください



<https://www.pdea.jp>